

WLB支援センター みやこ 創設15周年記念
ノーベル生理学・医学賞受賞者 講演会

The Research and Work-Life Balance of
Dr. Elizabeth Blackburn and Dr. John Sedat
ワークライフバランス
ブラックバーン博士・セダット博士夫妻の研究とWLB

2026 **3/24** (Tue)
16:00~17:30 (Open 15:30)
Free Admission

対象

医師・研究者・医療関係者・
学生ほか

Venue
会場

Library Hall (2F),
Kyoto Prefectural University of Medicine

京都府立医科大学 図書館ホール (附属図書館 2階)
京都市上京区清和院口寺町東入中御霊町410

Language
言語

English (自動翻訳あり)



Opening Remarks: Hitoshi Yaku, M.D., Ph.D. (President)

Lecture 1

Telomeres in Human Aging: From Cells to Stress
and Social Connections

Elizabeth H. Blackburn, Ph.D. (エリザベス・H・ブラックバーン博士)
2009 Nobel Laureate in Physiology or Medicine
Professor Emerita, University of California, San Francisco (UCSF)
President Emerita, Salk Institute

Lecture 2

A Chromosome Architecture that Allows
a Seamless Transition Through the Cell Cycle

John W. Sedat, Ph.D. (ジョン・W・セダット博士)
Professor Emeritus, Department of Biochemistry and Biophysics,
University of California, San Francisco (UCSF)

Lecture 3

My Personal Journey Through a Career in Science

Elizabeth H. Blackburn, Ph.D. (エリザベス・H・ブラックバーン博士)

お問合せ・申し込み

下記URLまたは2次元コードよりお申し込みください
<https://forms.gle/YY6A5RSue8WVZAsP8>

3月15日最終締切 ※定員に達し次第受付終了



[主催] 京都府立医科大学
ワークライフバランス支援センター みやこ
<https://miyako.kpu-m.ac.jp/>

[後援] 京都府立医科大学学友会 京都府立医科大学 広小路キャンパス活性化プロジェクト / 国際学術交流センター

ブラックバーン博士・セダット博士夫妻の研究とWLB

エリザベス・H・ブラックバーン博士は、2009年ノーベル生理学・医学賞受賞者であり、著書の“テロメア・エフェクト”は30ヶ国以上の言語に翻訳され世界に広く知られています。細胞の寿命を司るテロメアの研究を通じて、“老化の謎”と“ストレスや社会的つながりが健康に及ぼす影響”という人生に直結する知見を語っていただきます。

夫であるジョン・W・セダット博士には、生命科学の未解決課題である高次染色体構造の三次元的解明に挑む最先端の研究を披露していただきます。

ノーベル賞受賞者のご講演を直接聴講できる、極めて貴重な機会です。さらに、そのキャリアと私生活に関する個人的なストーリーも伺います。皆さま、ぜひご参加ください。

※講演は英語で行われます。スクリーンには日本語の自動翻訳字幕を表示いたします。

開会挨拶 夜久 均（京都府立医科大学学長） 座長 糸井 恵（明治国際医療大学）
司会 外園 千恵（センター長） 糸井 啓純（明治国際医療大学）

講演1

カリフォルニア大学サンフランシスコ校 名誉教授
ソーク研究所 名誉所長

エリザベス・H・ブラックバーン博士

ヒトの老化とテロメア：細胞からストレス、そして社会的つながりへ

テロメアは、染色体の末端を安定し保護する構造です。本講演では、彼女が科学的研究に対する好奇心に駆られて、細胞が染色体末端（テロメア）を保護する分子メカニズムを発見し、テロメア保護機能の喪失がヒトの老化や老化関連疾患にどのように寄与するかまでの研究の軌跡を語ります。こうした科学的研究のより広範な意義についてもお話します。

講演2

カリフォルニア大学サンフランシスコ校
生化学・生物物理学部 名誉教授

ジョン・W・セダット博士

細胞周期をシームレスに移行させる染色体構造

セダット博士は、クライオ電子顕微鏡（Cryo-EM）トモグラフィーなどの最先端技術を開発し染色体の三次元構造を可視化しました。本講演では、この緻密な構造が「細胞周期をシームレスに進行させる」ために果たす重要な役割について、最新の知見を解説します。

講演3

エリザベス・H・ブラックバーン博士

科学者としての歩み：私のキャリアを振り返って

